

第3回点検研修会を開催！

平成23年7月31日（日）城南静岡高等学校にて標記研修会が開催された。この研修会は、静岡県ソフトボール協会（以下、県ソ協）記録委員会の主催で一昨年より開催されており、今回で3回目となった。シーズン真っ盛りのこの時期に研修会を開くことで、即座に現場で『使える』ということもあり、県下各地から約30名が受講。二週間前のPC研修会でも会場を提供してくれた城南静岡高校の校長でもある県ソ協・増田正史副理事長は「会場やその環境を出来る限り提供します。思う存分、勉強して欲しい。」と話し、少しリラックスした受講生たちも笑顔で応えていた。

研修では、PC担当者や点検担当者のチームワークで未然に防いでほしい点や、中央研修会での資料などもとにスコアカードを点検する上での留意点、点検の手順など、芦澤講師がパワーポイントを使って丁寧に説明。このあと受講生たちは、講師が実際に携わったスコアシートをもとに、選手交代や複数の投手が何度も登板するケース、DP違反や再出場違反など、複雑なパターンでの点検にチャレンジした。限られた時間内での点検に挑戦した受講生たちからは、ハードな内容に時折ため息や悲鳴のような声が聞かれたものの、使命感を持って取り組む姿勢の大切さを、身をもって学んでいたようだった。

この日の講師で県ソ協記録委員会委員長でもある芦澤委員長は、「試合開始とともに点検作業は始まっている。大会の記録員全員がベストコミュニケーションで進めて欲しい。また、経験を活かして個々のレベルアップを図り、質の向上に繋げたい。」と話し、全体のレベルアップに向けて受講生たちを鼓舞していた。

